

# 緑の中駆け回り 福島の子に笑顔

## 七飯の林間学校に第1陣240人

原発事故に苦しむ福島県の子どもらに笑顔が戻った。七飯町の大沼ふるさとの森自然学校で26日、「ふくしまキッズ夏季林間学校」が始まった。第1陣となる約240人の子どもたちはさっそく、大自然の中、サッカーやキャッチボール



ールをして遊んだ。福島県などのNPO法人が企画、実行委員会を作って公募した。このほか、七飯町や地元の宿泊施設など多くの企業、団体が協力した。滞在費や食費などは全国からの寄付金約4200

万円があてられる。開校式の後の昼食はジンギスカンと焼きそば。地元でとれた新鮮なキュウリやトマトも提供された。進士徹実行委員長は「子どもたちに何の罪もない。大自然に恵まれた北海道で

思い切り遊んでほしい」と話す。郡山市から3人の子どもを連れて参加した池下志乃さん(40)は「サッカーをやっている小4の長男のために週末は県外に出ています。こうした企画は助かります。思い切りサッカー

屋外でジンギスカンなどを楽しむ福島の子どもたち。七飯町、杉本康弘撮影

をやってほしい」。

学習指導など学校の運営には北海道教育大の学生ら約40人がボランティアとして支えている。4年生の徳田早香さん(22)は「子どもたちが笑顔なのでほっとしました。いっぱい遊んでほしい」と話した。

# 北海道